

僕は、「道」という字が上手く書けない。首の部分の大きさや形、しんによ、「え」のクラック、最後のストレートの長さや、払い終わる時のバランスが何とも難しいからだ。

「道」と言えば、テレビで江戸期の浮世絵「東海道五十三次」が紹介されていた。旅人達が愉しげに行き交う様子、宿場町やそこから観える景観が生き生きと描かれていて、僕も江戸っ子だったら、とも思える一枚だ。

「え」のは道の起点で、クラックろは山を登る時のジグザグ、角の部分又は、まるで当時の関所のように見えてきた。最後のストレートは、いい流れができて、人々がすつと終着地へ向かう感じがする。だから払い終わりに「は、やや上向きなのだろうかと考えた。

東海道は、現在の東海道新幹線の礎となっている。最初は大変でも、暗いことばかり考えてうつむいていたり、頭が重くて道が折れそうになり、歩きだせない。そんな時でも上を向いて、自分の道を歩いていこうと思っただ。